

橋りょう架設特集

目次

□巻頭言 海洋に目を向けよう	村上 永一	1
副会長西松三好氏の急逝を悼む	最上 武雄	3
鋼橋架設における諸問題	上 前行 孝	5
大形架設工法の開発と実施例	佐々木 貴一	8
柳津橋の架設	横山 英夫	14
盛金新橋の架設	萩谷 和夫	18
五料橋の架設	清水 基衛	26
船堀橋の架設	佐々木 貴一	30
木根川橋の架設	岡田 順勲	39
	平野 嘉菊	39

グラビヤ—橋りょう架設とリフトアップ

枚方大橋の架設	花井 省三	45
太田橋の架設	奥山 清	53
蛸の浦橋の架設	大塚 茂俊	60
阿蘇大橋の架設	吉崎 人美	67
□随想 橋の架設に思うこと	川崎 偉志夫	72
新東京国際空港旅客ターミナルビルの リフトアップ工事概要	阿部 正勲	74
グラブバケットの掘削軌跡とつかみ量の計算	岩田 尚生	81
建設機械に関する特許分類の改正	徳永 博	86

□部会研究報告

建設機械整備標準工数および標準料金の決定	整備技術部会 料金調査委員会	90
----------------------	-------------------	----

□建設機械化講座 第100回 現場フォアマンのための土木と施工法

XVII. 建設機械概説		
1. 建設機械の基礎知識(その7)	大 蝶 堅	91

□工場めぐり

石川島播磨重工業砂町事業所	沢田 茂良	93
	今野 昭三	93
日立製作所亀有工場	黒田 満徳	96
	青木 宗光	96

□建設機械化研究所抄報

試験研究報告(No. 81)	建設機械化研究所	99
----------------	----------	----

□文献調査

アスファルトプラントを コンクリートプラントに転換	広報部会 文献調査委員会	102
------------------------------	-----------------	-----

ニューズ	(編集部)	103
行事一覧		104
編集後記	(佐藤・三浦)	106

◀表紙写真説明▶

KM-3515 T 形

クボタモビルクレーン

久保田鉄工株式会社

港湾荷役専用機として国産技術で開発されたモビルクレーンで、上部運転台から本船デッキを見通すことができると、ブームの動きが舷側に影響されないのが、本船荷役に最適の機種である。なお、写真は大阪港安治川ふ頭で活躍する KM-3515 T 形クボタモビルクレーンである。

◀仕様概要▶

- 形式: ホイール式・全周回・セパレートドライブ油圧機械操作式
- 主能力: 15t・6.0m(ロープ3本掛・安定度 50%)
- ロープ速度: 40~100m/min
- 旋回速度: 高速 3.4rpm 低速 1.5rpm
- 走行速度: 10km/hr
- 走行駆動形式: 6×4(4)-DD
- 最小回転半径: 約 12m
- 自重: 42t
- タワー高さ: 8.365m
- ブーム長さ: 20m
- 機名: KM-3515 DA-640 1 TPF (マイナーモデル)
- 作業装置: フック、クラブバケット、リフティングバケット
- 安全装置: フック巻過警報装置、作業半径指示装置